

社会福祉法人 御前崎厚生会
 特別養護老人ホーム 灯光園
 電話 (0548)63-3729(代表)
 FAX 63-4131
 灯光園デイサービスセンター
 63-6002
 灯光園在宅介護支援センター
 63-5116
 灯光園居宅介護支援事業所
 63-5115



新年のごあいさつ

理事長 柏原 秀紀

皆様方には輝かしい新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃は灯光園に対し多大なご支援、ご協力を賜り厚く感謝申し上げます。お陰をもちまして灯光園、デイサービス事業共に順調に運営ができていますと考えます。福祉、介護事業の多様化、変化に伴い国も様々な施策を打ち出しています。事業者として決して楽観できる状況ではありません。職員一同常に自己啓発に努め、先見力を持って対応しなければなりません。

そして、灯光園の理念、目標にあるように利用者の人権と尊厳を守り、安全で安心な生活ができるよう全力で取り組んでいく所存です。

地域の皆様を始め関係の方々の変わらぬお力添えをお願いし、併せて皆様のご多幸を祈念し新年のごあいさつとさせていただきます。

平成二十七年一月

デイサービスに来て

良かったよ。

—— 園内発表会を終えて ——

デイサービスセンター

介護士 平口 泰之

デイサービスのご利用者様は在宅で生活されている高齢者です。平成26年11月は80名の方が812日利用していただきました。一日平均33名の利用です。デイサービスに到着すると「おはよう、寒いのが、元気かえ」「元気だよ」とにぎやかなおしゃべりが始まります。

利用される目的は、心身機能の維持・向上、他者との交流、日々の楽しみなどがあります。私達デイサービスの役割を一言で言えば、在宅での生活を継続して行けるようにご利用者様とご家族を支援することです。昨年十一月、園内研修の一環で「介護力向上発表会」が開かれました。日頃の仕事を直直し新たな課題を見つめる機会となりました。みさきで元気になった方々を紹介しました。元気を

作る灯光園デイサービスを地域のより多くの皆様にご理解頂けたら幸いです。

灯光園デイサービスが特に力を入れていることは①機能訓練と②選択式趣味活動です。

①機能訓練

機能訓練指導員が計画書を作成し、その計画に基づいて実施しています。歩行、足上げ、立ち上がりなど個別に行う訓練とダンベル・ボール体操、口腔体操など集団で行う訓練があります。

②選択式趣味活動

文字通りご利用者様に選択して頂き、参加する活動です。運動レクや脳活性化・創作的な活動（カルタ・百人一首・ボイストレーニング・絵手紙・俳句・習字など）があります。

またこれらの活動が地域の皆様の支援で行われていることも特筆すべきことです。カラオケ

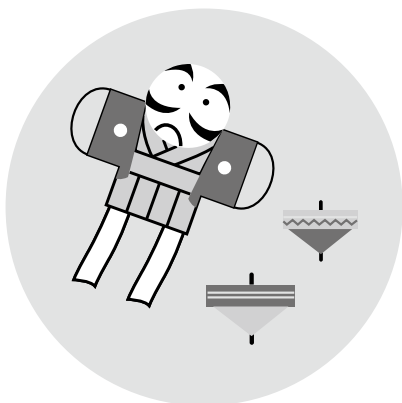
支援の清水その子様、パワーリハビリ補助の横山守様、趣味活動講師（ボイストレーニング系川千恵子様、絵手紙川口節子様、俳句鈴木善夫様）など、地域の皆様のお力のおかげで行われています。本当にありがとうございます。

健康に在宅生活を継続していくために心身機能の維持向上は欠かせません。特に口腔機能はきわめて重要と考えています。口は食べることで生命を守り、話すことで社会性を保ちます。口腔機能が低下しないよう、日々の生活を送っていただきたいと思えます。そこでデイサービスご利用者の食事形態と心身の状態を観察、測定しました。

測定はデイサービス看護師が中心となって昨年四月と十月の二回実施しました。測定項目は「食事形態、食欲、水ムセ、食物ムセ、開口度、舌突出度、舌苔、義歯、意識レベル、歩行能力」の十項目です。今後も測定を継続して実施し、支援に役立つ

てたいと思っています。

発表にあたり、デイサービス職員にも様々な気付きがありました。ご利用者様お一人おひとりの支援には介護士、看護師、機能訓練指導員、地域の皆様の協力で良い支援が出来る事、「元気になったよ」と皆様から言ってもらえるよう新しい取り組みも進めていきたいと思えました。灯光園デイサービスが地域の高齢者の元気を作る拠点になれるよう頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。



『こちら、灯光園居宅 介護支援事業所です』

ケアマネジャー 森田 真基子

一年の計は元旦にあり

物事を始めるにあたっては最初
にきちんと計画を立てることが
大切です。みなさん、今年ほど
んな計画を立てましたか。

私たちケアマネジャーはケア
プランを立てます。利用する介
護サービスの種類や内容を決め
た「介護サービスの利用計画」
です。作成にあたってはご本人
やご家族の意向、心身の状況や
生活の環境に配慮してご本人の
思いを引き出して、思いの実現
に向けて課題や目標を立てます。
住み慣れた家でその人らしく生
活出来るよう考えます。

「ケアマネジャーをお願いします
ます。」とお話しをいただく
家や病院へお伺いします。ご本
人、ご家族からお話を聞いて進
めていきます。ご本人を取り巻
く全てのことに目を向ける様に
しています。ご本人の生活、性

格、持病、趣味、思いそれらの
中からご本人の課題や目標を探
し出していきます。

課題や目標は「やった、でき
た!。」という達成感を得られ
心の張りが出てきます。張りのあ
る元気な毎日が送れます。また、
最近、利用者のみなさんに強く
感じることはありません。社会性
が強まっているということです。
人は人によって生かされている
ことを感じます。それは、デイ
サービスに限らず、介護保険
サービスを通して、様々な方と
接していることに他ならないと
思います。ご本人の表情にもそ
れが表れていて、笑顔を作る仕
事ケアマネジャーをしていて本
当に良かったとつくづく思いま
す。



年末には、園内福引き大会を行ないました。豪華景品を用意し、職員も利用者も一緒に楽しみました。お餅つきは、毎年恒例です。ボランティアさんのご協力のもと、つきたてのお餅を美味しく食べました。

今年になって初めての体操クラブでは、参加者全員でおとそをいただきました。お正月気分を味わいました。



灯光園の取り組み

灯光園は平成一九年度から、

全国老人福祉施設協議会が主催する介護力向上講習会に参加し、入居されているお年寄りに元気になっていただくための取り組みを続けています。その中で、平成二十一年から全員の方に布のパンツで生活していただいています。おむつゼロです。ここではトイレに行くのが当たり前の姿です。おむつ交換をしていた頃が遠い昔です。その後も下剤ゼロ、全員常食など、年度ごとに目標を掲げて取り組みました。長く続けた取り組みの成果として見えることは、何よりも入居のお年寄りが元気だということだと思います。こんなに寒いのに...と思うような日に、帽子をかぶり、手袋をはめて歩行者で歩行訓練をしている方がいます。一〇二歳の方が、事務所まで歩行器で来て、事務の職員からみかんを分けて

もらっている姿があります。体操クラブでは、お屠蘇を頂いています。

灯光園ではユニットケアの手法も取り入れていきます。介護が必要になっても自宅にいた時と同じように生活していただくのが理想です。一人ひとりの好みを尊重し、希望を聞き、その人らしい生活を送ることができるといいと考えます。灯光園は一つの地域で、ユニットは家です。十人のお年寄り、五、六人の職員とが家族です。個室は自分の部屋です。馴染みの関係をつくり、よくわかりあった人と一緒に生活を楽しみます。その中でお年寄りの尊厳を守り、情けない思いや、恥ずかしい思いをさせない。と決めました。今年度のもっと地域に出かけて行こうと思います。



ボランティア活動

～あいがとう～

灯光園

(十二月)

○明るい社会作り運動御前崎支部様

(車椅子清掃)

○乙坂 昇平様

(家族会喫茶店フルート演奏)

○大澤 晶子様

(家族会喫茶店歌唱者)

○御前崎市老人クラブ連合会

友愛委員様 8名

(お餅つきの手伝い)

灯光園デイサービス

(十一月)

○糸川 千恵子様

(ボイストレーニング)

○川口 節子様

(絵手紙) 二回

○清水 ソノ子様

(カラオケ支援) 二十回

○鈴木 喜夫様

(俳句指導)

○日赤奉仕団白羽地区(草取り)

○横山 守様

(パワーリハビリ補助) 四回

(十二月)

○糸川 千恵子様

(ボイストレーニング)

○川口 節子様

(絵手紙) 二回

○清水 ソノ子様

(カラオケ支援)

二十五回

○鈴木 喜夫様

(俳句指導)

○横山 守様

(パワーリハビリ補助) 七回



ありがとうございました。

○御前崎ライオンズクラブ様

(車椅子5台)

○静岡県退職公務員連盟榛原支部

(タオル)

○下岬老人クラブ様

(タオル)

○JAハイナン

(二万円)

南地区女性部様



編集後記 69

今年のお正月には、大切な人との別れがありました。寂しい出来事でしたが、私たちの仕事も死とは切り離しては考えられません。良い最期を迎えるということは、良い生を過ごすということになると思います。悔いのない人生になるよう毎日を大切に過ごさなければと改めて思いました。